

あきづき

梨

販売期間

8月下旬

9月中旬

新高×豊水と幸水の交雑品種。秋に収穫され、月を思わせる豊円形から『あきづき』と名付けられ、平成13年に品種登録されました。熊本では豊水と新高の中間に、平成19年には約30tの出荷が予定されています。「特徴は優れた果形と安定した品質」だと話すのは「熊本県果樹研究会」の福岡清隆梨部部长です。

「棚持ちする安定した品質が魅力」

平成16年産から販売がスタートした『あきづき』。販売は8月下旬に始まり、9月中旬には終了します。豊水と新高の中間に成熟を迎える中々晩生の赤ナシです。最大の特徴は果形の良さ。幸水に比べて格段に美しい豊円形に仕上がりに、玉揃いは良好です。また、豊水と比較すると蜜症の発生率が少ないため、日持ちがするのも魅力です。棚持ちするので、販売現場でメリットを実感していただけると思います。

秋の月のように美しい 豊円形と玉揃い

樹勢の良さも特徴で、基本は無袋栽培。陽光を浴びて完熟したものは果皮の赤みが強く、糖度も12〜13度と高くなります。500g程度の果実重は豊水より大果ですが、酸味は少なく、細やかで軟らかい食感。安定した品質と秀でた果形で、今後の出荷量増が期待されています。

